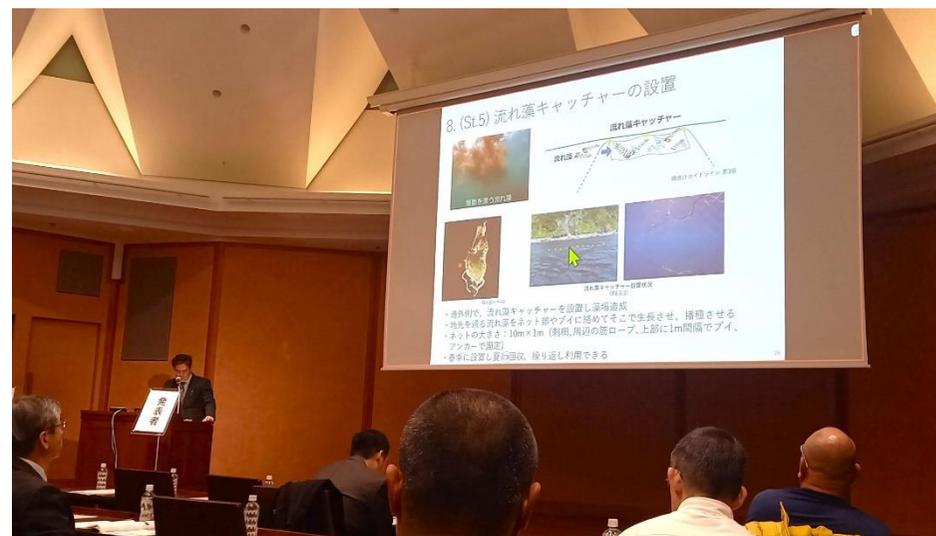


令和6年度磯焼け対策全国協議会 令和7年1月24日(金) 10:00~16:30 東京大学伊藤謝恩ホール



開始時の様子



発表・報告の様子(長崎県は直接報告はなし)

【磯焼け対策全国協議会の長崎県関係】

《一部として関連報告：各地域からの報告のうち②と③、トピックスのうち④,⑤,⑥》

- ②『福岡市の離島・小呂島での食害生物から海藻を守りながら藻場造成をする技術の実践』の中で、「植食性魚類の除去」の手法として「長崎県内でよく利用されているイスズミトラップ」を改良利用との報告
- ③『千葉県の「藻場の保全・回復に向けた取組指針」及び実施している対策について』の中で、「植食性魚類の買取り」にあたり「壱岐市の事例」の着想を得て実施との報告
- ④『海水温上昇に対応した藻場造成手法について』の中で、「徹底した植食性魚類対策の成功事例」として「壱岐市の徹底したイスズミ除去」を報告
- ⑤『植食性魚類による食害対策の高度化について』の中で、「イスズミトラップ」を報告
- ⑥『水産庁の藻場に関する施策の動向』の中で、「海業の一環として藻場保全等を取り組む例」の1つとして「対馬市(美津島町)の取組」を報告

令和6年度水産多面的機能発揮対策報告会 令和7年1月25日(土) 10:00~15:30 日本科学みらい館(お台場)



水産庁 中村部長 開会挨拶



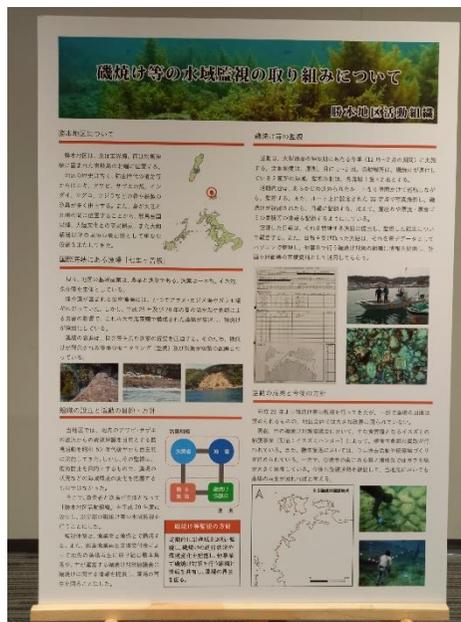
深江(吉田組合長等)の発表の様子



パルシステムによる長崎県漁連の取組



北九十九島地域活動組織



勝本地区活動組織

【シンポジウム『海の森の今』の長崎県関係】  
 《直接報告》  
 ○「深江ブループロジェクト活動組織」から『みんなで保全する「アマモすくすくプロジェクト」』の報告(上記)

《一部として関連報告》  
 ○『パルシステム 産直産地の藻場再生』の取組事例として、「長崎県漁業協同組合連合会」との連携した取組の報告(上記)  
 ・その報告に関連して、コメンテーターの中嶋泰氏から五島崎山地区の藻場回復の取組(網仕切等)を紹介してほしいとのお願いあり